

平成30年度 第2回

小6 一貫模試

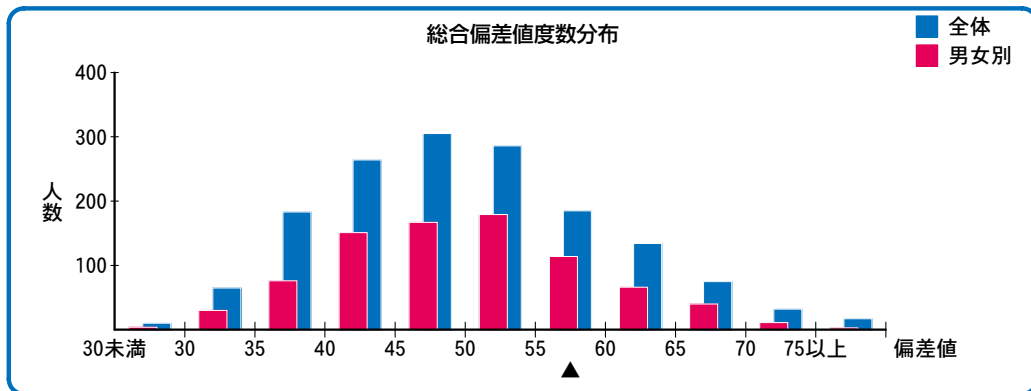
個人成績表

会場	性別	受検番号	氏名
クロノクリエイト	女子	123456789	黒野 花子

総合成績

	得点	偏差値	平均点	全体順位	男女別順位
適性検査Ⅰ	55点/300	48.8	59.6点	1120番/2314	542番/1234
適性検査Ⅱ	124点/300	60.5	86.3点	359番/2314	202番/1234
適性検査Ⅲ	74点/100	58.6	59.8点	311番/1556	181番/841
適性Ⅰ・Ⅱ	179点/600	55.3	145.9点	621番/2314	317番/1234
総合	253点/700	56.5	207.1点	370番/1556	190番/841

総合偏差値度数分布



偏差値推移

	第1回	第2回			
適性検査Ⅰ	50.4	48.6			
適性検査Ⅱ	59.3	60.5			
適性検査Ⅲ	59.4	58.6			
適性Ⅰ・Ⅱ	55.3	55.2			
総合	56.1	56.5			

志望校別成績

合格可能性 A:80%以上 B:60%以上 C:40%以上 D:40%未満

桜修館中等教育学校

適性検査Ⅰ・Ⅱを500点換算／適性検査Ⅲを200点換算

▼志望校別

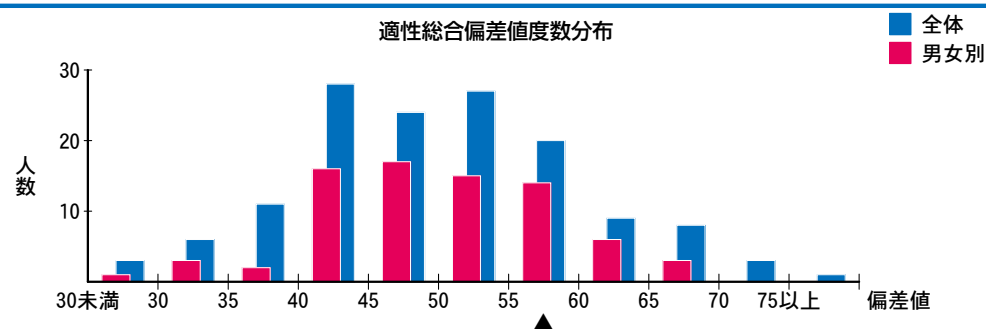
▼志望校男女別

	得点	換算値	偏差値	平均点	順位	平均点	順位
適性Ⅰ・Ⅱ	179点/600	149点/500	55.1	121.5点	36番/140	119.1点	20番/77
適性Ⅲ	74点/100	148点/200	58.0	121.3点	31番/140	125.9点	18番/77
適性総合	253点/700	297点/700	57.1	242.8点	30番/140	245.1点	14番/77

合格可能性

B

適性総合偏差値度数分布



白鷗高校附属中学校

適性検査Ⅰ・Ⅱを500点換算／適性検査Ⅲを300点換算

▼志望校別

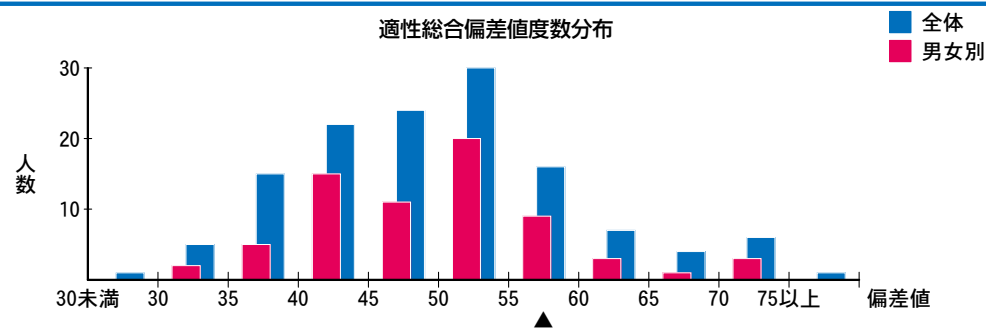
▼志望校男女別

	得点	換算値	偏差値	平均点	順位	平均点	順位
適性Ⅰ・Ⅱ	179点/600	149点/500	56.4	120.2点	32番/131	117.4点	15番/69
適性Ⅲ	74点/100	222点/300	58.7	182.7点	24番/131	186.3点	12番/69
適性総合	253点/700	371点/800	59.4	302.8点	20番/131	303.7点	8番/69

合格可能性

B

適性総合偏差値度数分布



問題2

問題3

問題4

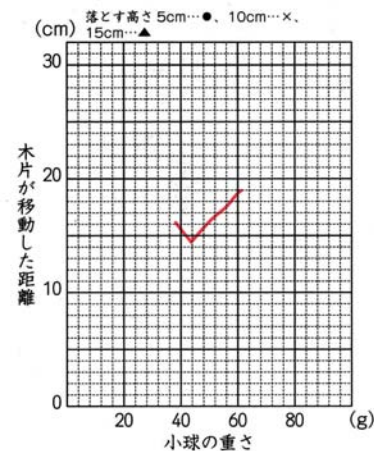
2

問題 1

問題2

(1) グラフ 1

(2) グラフ2



(理科)

(理科)

0点/17	1.1点
0点/32	15.5点
0点/34	10.5点

問題3

(2)	✓ 60	8
-----	------	---

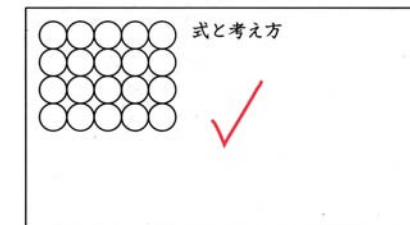
3

問題 1

式 $100 \times 100 = 10000$

問題2

(2) 2から	✓	までの和
---------	---	------



問題3

(2)  個

4

問題 1

I 3

問題2

問題 3

頂点 ✓ 30 個

3
(算数)

0点/14	5.4点
23点/46	1.9点
0点/30	2.7点

4
(算数)

10点/24	6.8点
0点/12	1.9点
12点/24	4.8点

適性診断Ⅱ

1

問題1

日本列島の周りの海は、水深が深いて、浅いて、どちらもあることで、魚類はいる。深海には魚が集まりやすく、また日本は島国であるため、海流が4つ流れていて、それぞれ暖かい海、冷たい海に魚が集まりやすいため。

問題2

② 527000人 ③ 23% ⑤ 370 km

問題3

イ

問題4

排他的経済水域が設定されたことにより、遠くまで行き魚をとる遠洋漁業は、200海里以内まで、魚をとることから、漁獲量を制限されてしまったから。
わかりにくい表現です。数字に手紙のようにまとめましょう。

問題5

日本の漁獲量が「下がり」た一方で、1人あたりの食用魚介類供給量は過去と変わっていないということは、年々、1人あたりの食用魚介類供給量が減ってきているということが考えられる。

問題6

日本は海面漁船漁業の生産量が減り、内水面漁業・養殖業も増加しており、全体的に漁業生産量が「下がり」ているが、世界の漁業生産量は年々増えている。海面漁船漁業は過去とあまり生産量が変化せず、安定している。
漁業の種類のちがいに注目しましょう。

問題7

国名 韓国

数値 $1713 = 334000 \div 12675 =$
資料から読み取れることを書きましょう。

2

問題1

東京に行く人たちの住む地域を明らかにしましょう。□にあてはまるようにまとめましょう。

東京都は都市が発達しているため、会社が多く、昼間に出る人が多いため。

問題2

世界のコンテナ取り扱い貨物量の中で日本がしめる割合を比べましょう。

世界全体の貨物量は $383 \div 86 =$ 約 4.45 倍増えているが、日本は $17 \div 8 =$ 約 2.13 倍にしか増えていないから。
これに対し日本は17%増

問題3

たくさん荷物が積めるのは無駄がないからです。積みおろしの作業がしやすく、作業時間も短くなりますね。

コンテナの形や大きさを統一したことで、コンテナ船にするべく、たくさんコンテナを1度に運ぶことができるようになったから。

問題4

字数指定のある解答は、一まず目から書き出します。

~~~~~	ト	ウ	ッ	ワ	10	台	で	運	ぶ	と	、	1	ト	ン	の	16
貨物	を	1	km	5.7%	運	ぶ	か	、	エ	ネ	ル	キ	を			
862%	も	消	費	し	て	し	ま	い	、	さ	ら	に	正	確		
な	時	間	で	輸	送	が	で	き	な	い	け	れ	ど	、	コ	
ン	テ	ナ	船	で	運	ぶ	こ	と	19%	、	1	ト	ン	の	貨	物
を	1	km	9.1%	運	ぶ	、	エ	ネ	ル	キ	を	11.6%				
しか	消	費	せ	ず	、	さ	ら	に	輸	送	費	用	が	安		
い	た	め	、	こ	う	リ	フ	よ	く	運	ぶ	こ	と	が	で	
き	る															

(150)

トラック、コンテナ船の輸送費用や輸送距離、環境への影響などを比べてまとめてみましょう。

## 適性検査Ⅱ

### 内 容

得 点

平均点

1  
(社会)

問題1	豊富な種類の魚がいる理由	20点/20	13.2点
問題2	計算問題	30点/30	13.3点
問題3	石油危機の年号	10点/10	7.9点
問題4	漁獲量と排他的経済水域との関係	5点/20	5.7点
問題5	日本の漁業について	20点/30	8.3点
問題6	日本と世界の漁業生産量のちがい	20点/30	9.4点
問題7	漁船1隻あたりの漁業生産量の計算	0点/30	1.6点

### 内 容

得 点

平均点

2  
(社会)

問題1	昼間と夜間の人口のちがい	0点/20	6.8点
問題2	コンテナ取り扱い貨物量の計算	0点/30	2.6点
問題3	コンテナによって便利になった理由	0点/30	5.3点
問題4	コンテナ輸送の長所と短所	19点/50	12.1点

5よのいのま  
 へりかた書す  
 よをこか一が  
 でらとかが  
 しからちの  
 よに何が物  
 うでをうと語  
 へるん気もて  
 とだづ文い

文法→文章の要点を第一  
段落にまとめようとした  
のはよいです。文章で  
は「書縁を大切にすべ  
き」という部分に「文章  
については「読書のよさ」と  
いう部分を抜き出せると  
よりよいでしょう。(へい  
3)

**1**

問題一

る	き	気	何
	に	持	か
	何	ち	を
	冊	か	知
	に	あ	り
0			
(もの)	一	た	
	回	て	い
	か	本	
	の	を	調
	割	採	ハ
	合	し	た
	で	求	い
	出	め	と
	会	た	い
	え	と	う

**問題二**

こ  
 と  
 。  
 そ  
 の  
 本  
 を  
 買  
 っ  
 て  
 読  
 ん  
 で  
 み  
 る

### 問題三

な	希	な	希
く	薄	な	薄
な	な	な	な
る	不	な	不
か	安	な	安
ら	定	な	定
	関	な	関
	係	な	係
	し	な	し
	か	な	か
	構	な	構
	築	な	築
	て	な	て
	き	な	き

問題四

文章と文章とは、読む時の時間の使い  
方や、読むことの良さについて書かれています。  
ハオの誕生日の時、私は祖母から源氏物語  
という本をもらいました。その本は子供用でイラ  
ストを使い分かりやすく書かれています。私は  
その本があまりにも面白そうだったので、た  
ため、その本をもう一冊のうちに、最後まで読  
み終えてしましました。すると祖母は「一日で  
読んできました。それは子供用だから、本当の  
文章とは少し違うのよ」と言い、九才の誕生  
日の時に大人用の源氏物語を買って約束して  
くれた。そして九才の誕生日になると私は納束  
通り、大人用の源氏物語をもらいました。読ん  
でみると、イラストがその当時の絵のようで、  
文もその当時の使われ方をしている。一つの物  
語でも文の書かれ方が違うことを知らされた。  
この体験を通して私は、読書をする時は同  
じことについて書いた本を何冊も読むことが大  
切で、今後の生活に取り入れようと思った。

⑤	④	③	②	①
6	8	10	10	15

平均点

10点/10	6.3点
0点/15	6.2点
15点/15	10.6点
49点/60	36.7点

1

(国語)

## 出題内容のアドバイス

### 適性検査Ⅰ

- ① 地球の空気の成り立ちや、地球誕生(たんじょう)からの変化について、表やグラフからその理由を読み解く問題です。

問題1は、「地球カレンダー」上の数字を計算する問題です。会話文中の40日間で5億年にあたることに着目して解きましょう。問題2は、酸素が増えた理由を答える問題です。「地球カレンダー」とグラフと会話文の3つからわかることを答える問題なので、資料を正確に読み取ることが大切です。問題3は、二酸化炭素が水に溶けやすいという性質から、海に溶けたことに気が付けるとよいでしょう。問題4は、「オゾン層」によって動植物に影響のある紫外線が地上にとどかなくなったことと、「地球カレンダー」から、今まで水中で生活していた動植物が地上でも生活ができるようになったことに着目し、つなげて考えられたかがポイントです。もう一度、会話文と表とグラフの3つを確認しながら解き直しましょう。

- ② 物体の運動の実験結果から、正確にデータを読んで理解し、また、表にまとめられたデータをグラフ化して、意味を読み取ったり予測したりする問題です。

問題1は、球とコの字型ゲートの大きさから、コの字型ゲートは球を止めるためにあることがわかります。そこから、なぜ止める必要があるのかを考えます。問題2は、表の数値を正確にグラフ用紙に表すことが求められます。次の問題3では、自分でかいたグラフから、落とす高さで移動距離、球の重さで移動距離が比例することを読み取りましょう。間違えた問題はもう一度よく確認しながら復習しましょう。

- ③ 計算の工夫を、○印を使って図形として考えて解く問題です。問題1は、ピタゴラスの三角数を使って解く問題です。問題2は、(1)が奇数の数列の和を、(2)が偶数の数列の和を求める問題です。また、図を使って説明する記述力を見る問題でもあります。問題3(1)(2)は、○印の並び方の違いから全体の個数を求める問題です。(1)は正方形を4ブロックに、(2)は正三角形を3ブロックに分けて考えます。

- ④ 立体図形の見えていない部分を、規則性を見つけながら考えていく問題です。問題1(1)(2)は、見えている面の数から見えていない面の数を考える問題です。1個ずつていねいに確認していきましょう。問題2は、正八面体の見取り図から辺の総数を求め、展開図から、切られていない辺の数を求めて、その差を使って解く問題です。このときに、切られた辺を考えると難しくなるので、切られていない辺に着目することで解きやすくなります。問題3は、正十二面体の辺と頂点の数を求める問題です。数えるのではなく面数を使って考えることで、手際よく計算で求めることができます。

### 適性検査Ⅱ

- ① 日本の漁業に関する問題を、資料や文章から読み解く問題です。日本は世界でも有数の豊富な海産資源を持つ海洋国です。日本の漁業における様々な特色に関する基本的な知識に基づいて、思考力や表現力を問う問題を出題しました。日本の漁業において非常に大きな特色は、親潮と黒潮によってさまざまな種類の魚を捕ることができるということです。この二つの潮流によってもたらされる「潮目」があり、リアス海岸によって古くから港として栄えた八戸港や石巻港では、漁業が盛んに営まれています。他にも、サンマやスケトウダラで有名な釧路港、遠洋漁業で有名な焼津港、日本海側で有数の港である境港は入試で問われることがありますので、覚えておきましょう。海流についても、親潮(千島海流)、黒潮(日本海流)、対馬海流とリマン海流の代表的な4つの海流が日本の気候に影響を色濃く与えることをおさえておきましょう。例えば、日本海側の多量の降雪の原因であることがあげられます。シベリア気団が季節風の影響により南下する際に黒潮の温暖な海流の水分を含ませ、中国山脈や奥羽山脈、日本アルプスといった山脈にぶつかったときに一定の低温状態であれば降雪がもたらされます。他には東北地方の太平洋側で、夏に北東から吹く「やませ」という冷たい風の原因も親潮によるものです。水稲耕作に影響が出て冷害となることがあります。このあたりも入試で問われたときに対応できるようにしておきましょう。

問題1は、海流の特徴と海の深さを併せて考える問題です。図や表を読み取り、上述の知識を活用して説明しましょう。問題2は、棒グラフの増減を読み取る問題です。②はグラフの縦軸にある単位をしっかりと確認することが大切です。③は割合の計算力を問う問題です。⑤は数量を概数にする力を問う問題です。問題3は、折れ線グラフの特徴的な変化を読み取る問題です。石油危機は1973年のできごとです。第四次中東戦争によって、アラブ諸国による石油価格の引き上げがなされ、日本経済にも大きな影響を与えました。問題4は、遠洋漁業の漁獲量が減少した理由を答える問題です。排他的経済水域の設定を受けて漁業範囲が制限されたことを背景に、遠洋漁業の漁獲量が減少しました。記述の問題として問われやすいことから、正しく理解しておきましょう。問題5は、資料の読み取りと考察力を問う問題です。遠洋漁業の漁獲量の減少については、問題4で取り上げました。それだけでなく、1990年ごろには沖合漁業などでイワシやサバなどの日常的に食べる魚が不漁となり、資料上でも漁獲量が減少していることが読み取れます。しかし、図6の資料を見ると、1人1年あたりの食用魚介類供給量に大きな変化は見られません。これらを客観的に読み取り、「輸入」または「養殖」によって供給量が維持されていることがイメージできるとよいです。問題6は、日本の漁業と世界の漁業を比較する問題です。日本の漁業生産量は減少の一途をたどっていますが、世界の漁業生産量では養殖業の伸びが顕著であることがわかります。問題7は、資料を読み解く力と計算力を問う問題です。資料から単位量あたりを求める問いではケアレミスをしやすいですから、計算しながら常に検算することを心がけましょう。

2 日本の都市人口やコンテナを使用することによる貿易の変化を、資料から読み解く問題です。東京オリンピックなどでますますにぎわいを見せる都市部ですが、地方の人口流出には歯止めがかかっておりません。総務省の人口推計より2006年から2016年での人口変化率を表すと、東京が約+8%、神奈川、埼玉では約+4%、千葉では約+3%、逆に秋田や青森は約-10%となっています。これらの事象から、様々な問題が生まれます。例えば、都市部では通勤に利用する電車の乗車率が200%近い数字になり、対策に苦心しています。地方では税収が減少し、さらに高齢化の進行も重なってますます財政が厳しくなり、行政サービスの低下をまねく可能性があります。このような都市部への人口流出や地方の人口減少による諸問題は、入試でも問われることがあります。コンテナに関する設問については、形や大きさを統一したことで、何がどのように変化したのかを考えます。グローバル化の影響で様々な基準の統一が加速しています。最近でも仮想通貨の出現で「お金」の基準や在り方そのものが変化しつつあります。基準が変わり、世界中で同じ単位や数量を扱うことによって、世の中がどう変化するのかをコンテナ輸送の例から考えてみましょう。

問題1は、都市部の昼間人口と夜間人口の比較をする問題です。特に違いが分かりやすい数字を読み取ることが大切です。北関東3県では大きな変化が見られませんが、埼玉、千葉、神奈川では昼間人口が少なく夜間人口が多いです。反対に、東京では夜間人口が少なく昼間人口が多いことがわかります。このことから仕事や学業で近郊住まいの人々が東京に来ていることを想像しましょう。問題2は、計算力と理由を説明する問題です。理由をはっきりさせた記述を心がけましょう。問題3は、資料の読み取りと考察力を問う問題です。縦横高さが統一されたコンテナを使用することで、無駄のない輸送が可能となりました。問題4は、資料の読み取りと記述力を問う問題です。トラックでの輸送と比較して記述することが問われています。120字以上150字以内での記述ですから、どうまとめるかを考えましょう。ポイントは対比させる点を決めることです。今回の問題では、正確な時間で輸送ができるか。長距離輸送に向くか。輸送費用が多くかかるか。環境にやさしいか。この四つのポイントの中で、比較しやすい内容をまとめていくと書きやすくなるでしょう。

## 適性検査Ⅲ

文章1は、読みたい本を読みたいように読むことを勧めています。「ベストセラーだからという理由で読む必要はない。」「全部を読まなくてもいい。」「必要なところだけ読んで、あとは読み飛ばせばいい。」という読書スタンスは学校などでの指導とは異なります。普段の生活の中で形成された常識とは異なる内容でも、素直に読み取ることが求められます。

文章2は、他者と対話することとの対比を通して読書のよさを説明しています。三つ列挙されていますので、それにしたがって3つのよさを読み取りましょう。

問題1 多くの説明文には、筆者が新しく提唱する概念や聞きなれない言葉が登場します。そして、筆者は必ずその概念・言葉の定義や内容を説明します。定義・内容説明がなされている部分の読解は、説明文全体を読解するうえでも設問を正解するうえでも大切なことです。文章1では、「書縁」が聞きなれない言葉にあたります。定義されている部分を探すときは、「○○とは、△△のことである」「□□こそ、○○である」といった形を探し、そこに注目しましょう。

問題2 語句の知識を要する問題です。語句の知識は正確に文章を読解し、説得力のある文章を書く際に必要不可欠なものです。普段から語句の知識を増やすことを意識しましょう。ちなみに付和雷同とは、「自分ではしっかりとした考えをもたず、すぐに他人の意見に賛成すること」です。

問題3 意味段落の区切りに注目しましょう。この問題に限らず、説明文を読むときは、意味段落・形式段落に注意しながら読む習慣をつけておきましょう。本文全体の構造を意識しながら読解を進めることができるようになります。そうすることで読むスピードが速くなり、読解の正確性も向上します。

問題4 注意すべきポイントが多い作文です。難しかったと思いますが、公立中高一貫校の作文テーマに即したものとなっています。

- ・文章の要点を正確にとらえているか。
- ・読書について何が大切なのかを書けているか。
- ・上記の内容が文章1や文章2から得た学びを活かすものになっているか。
- ・具体的な体験が書けていて、読書に関するものになっているか。

以上がこの作文のポイントです。

こうした適性検査の作文で合格点をとるために重要なことは、

- ・いきなり書き出さず、構成を簡単に書き出す。
- ・具体的な体験はその場でつくった作り話でも良いが、自分の体験の方が力強い作文になる。
- ・一文は短くする。
- ・自分にしか書けない作文を書く。

といったことを確実に実践することです。

そのために、志望校の過去問などを活用してどんどん作文練習をしてください。そして、多くの人にチェックしてもらってください。

